

在留邦人及び当地を旅行中の皆様へ

平成28年11月18日
在サンクトペテルブルク日本国総領事館

安全上のお知らせ
(当地テロ計画容疑者の拘束に伴う注意喚起)

1 12日、モスクワ及びサンクトペテルブルクにおいて、I S I L（イラクとレバントのイスラム国）との関係が疑われる中央アジア出身の10名が拘束され、うち7名（後に8名との情報もあり）が当地での拘束です。潜伏先にて小銃や爆発物等が押収され、真偽不明ですが、サンクトペテルブルクの大型商業施設等のソフトターゲットを対象にテロを計画していたとの報道もあります。

2 近年、世界の様々な地域において、テロ事件が発生し、特に繁華街、観光地、公共交通機関に対し、イスラム過激派組織によるテロやこれらの主張に影響を受けた者によるテロ等が発生しています。昨年9月、また最近では本年7月末に、I S I Lは、ロシアでのテロを呼びかけるビデオをウェブサイト上に公開しました。現時点、反テロ委員会の警戒レベルに変更なく、治安機関は引き続き警戒を強化しているものの、今後テロ等が発生する懸念もあることから、さらに十分な注意を払う必要があります。

3 無差別テロの特徴として、少ない労力で最大の被害を狙うため、警備が比較的緩いかつ人が大勢集まる場所（公共交通機関施設、観光地、劇場、レストラン等）や時間（ラッシュ時、イベント開催時、週末の夜、休日の日中等）を狙います。テロ被害に遭わないための一般的配意事項として、常日頃から治安情報にも目を向け、危険な場所にはなるべく近づかず滞在時間もできるだけ短くし、周囲の不審者（不自然な厚着、挙動不審が目立つ等）や不審物件（所有者不明な荷物、放置物等）に注意を払い近づかない、速やかにその場を離れるなどの用心を怠らないことが必要です。

また、実際に、テロ・爆発事件に遭遇した場合に被害を最小限に抑えるため、例えば次の諸点を心がけることをお勧めします。

<予防措置>

- 退避ルートを確認する。
- 隠れられる場所を確認する。
- 常に周囲の状況に注意を払い、不審者や不審物を見かけたら速やかにその場を離れる。

<対処法>

- その場に伏せるなど直ちに低い姿勢をとる。

○ 頑丈なもの陰に隠れる。

○ 周囲を確認し、可能であれば、銃撃音等から離れるよう、速やかに、低い姿勢を保ちつつ安全なところに退避する。

在サンクトペテルブルク総領事館領事部

Consulate-General of Japan in Saint-Petersburg, Consulate Section

Address: 30 Millionnaya St., St.Petersburg, Russia 190000

Tel: +7(812)336-76-73

Fax: +7(812)710-69-70

ホームページ: <http://www.st-petersburg.ru.emb-japan.go.jp/indexjp.htm>

「たびレジ」簡易登録をされた方でメールの配信を停止したい方は、以下のURLから停止手続きをお願いいたします。

URL: <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>

E-mail: ryoji@px.mofa.go.jp
